

【科目名】 作業療法治療学総論				【担当教員】 作業療法学専任教員					
【授業区分】 専門分野(作業療法治療学)		【授業コード】 4-23-0870-0-1		(メールアドレス)					
【開講時期】 3年次 後期		【選択必修】 必修		(オフィスアワー)					
【単位数】 1		【コマ数】 8							
<p>【注意事項】</p> <p>(受講者に関わる情報・履修条件)</p> <p>講義及び、小グループ編成によるディスカッションを行いながら授業を進める。</p> <p>(受講のルールに関わる情報・予備知識)</p> <p>特になし</p>									
<p>【講義概要】</p> <p>(目的)</p> <p>多様な障害に対する作業療法の各種治療に触れ、評価に基づく治療目標や計画の立案の過程を確認しながら、適切な治療技術の選択方法を学修することを目的とする。</p> <p>(方法)</p> <p>教科書や配布資料などによる各種治療の内容とその方法についての講義を行う。</p>									
<p>【一般教育目標(GIO)】</p> <p>作業の治療的応用についての概要を述べることができる。</p> <p>評価からプログラム選択までに必要な過程を述べることができる</p> <p>【行動目標(SBO)】</p> <p>提示された事例から、問題点を列挙し、目標の設定、作業療法介入までの過程を体験する</p>									
<p>【教科書・リザーブドブック】</p> <p>特になし</p>									
<p>【参考書】</p> <p>臨床評価実習で用いた資料。</p>									
<p>【評価に関わる情報】</p> <p>(評価の基準・方法)</p> <p>成績評価基準は本学学則規定のGPA制度に従う。</p> <p>レポートと成果発表より総合的に評価する。</p>									
【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合				50	50				100点
評価指	取り込む力・知識			25					25
	思考・推論・創造の力			25					25
	コラボレーションとリーダーシップ								

平成 26～28 年度入学者用

標	発表力				25				25
	学修に取り組む姿勢				25				25
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営方法	学修課題(予習・復習)	時間(分)					
1	身体障害領域① 事例の問題点抽出から具体的なプログラム立案までの過程を理解する。	グループ演習	臨床評価実習で用いた資料をまとめる。 必要に応じ、資料を配布する。	60分					
2	身体障害領域② 事例の問題点抽出から具体的なプログラム立案までの過程を理解する。	発表	臨床評価実習で用いた資料をまとめる。 必要に応じ、資料を配布する。	60分					
3	精神障害領域① 事例の問題点抽出から具体的なプログラム立案までの過程を理解する。	グループ演習	臨床評価実習で用いた資料をまとめる。 必要に応じ、資料を配布する。	60分					
4	精神障害領域② 事例の問題点抽出から具体的なプログラム立案までの過程を理解する。	発表	臨床評価実習で用いた資料をまとめる。 必要に応じ、資料を配布する。	60分					
5	老年期障害領域① 事例の問題点抽出から具体的なプログラム立案までの過程を理解する。	グループ演習	臨床評価実習で用いた資料をまとめる。 必要に応じ、資料を配布する。	60分					
6	老年期障害領域② 事例の問題点抽出から具体的なプログラム立案までの過程を理解する。	発表	臨床評価実習で用いた資料をまとめる。 必要に応じ、資料を配布する。	60分					
7	発達障害領域① 事例の問題点抽出から具体的なプログラム立案までの過程を理解する。	グループ演習	資料を配布する。	60分					
8	発達障害領域② 事例の問題点抽出から具体的なプログラム立案までの過程を理解する。	発表	資料を配布する。	60分					

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。